

第二十二師團輜重隊戰鬥經過概要

輜重隊長 杉本秀義

命令... 第... 師團司令... 既... 七...

同時頃ヨリ首里腹筋隊一部赤田町附近ニ対シテ戦車障得トシテ戦車地雷埋設及松川一那覇道上首里市西南端附近ニ対シテ煙氣散火ヨリ保ルテ戦車隊築壕埋設等技術的工事ニ従事ス

五十一日 戦況進展に伴い軍命令ニ依リ師團ハ首里腹筋ヲ放棄シテ島尻南端ニ後退シテ最後ノ土血戦ヲ敢行スベシ其ノ先鋒ヲ喜屋村山城地ニ先遣ス

五十二日 師團ハ戦斗司令所護衛部隊ヲ設置シ主カク以テ山城ニ前進シテ師團司令所山城ニ於テ諸施設及同地ニ陣地強化ヲ担任セシメル

五十三日 首里市赤田所陣地洞窟ニ敵戦艦主砲命中爆發發シ當時同所ニ在リ將校以下多数ノ死者ヲ出セリ而シテ隊ヲ独五歩兵中十三大隊同才二十一大隊同才二十四大隊同才二十三大隊等ニ隊ヲ既展

五十四日 部隊復歸食ヲ隊次掌握シ隊勢ヲ再建シ銳意任務遂行シ部隊主力ハ島尻郡喜屋村山城到着シ直ニ新命令ヲ受テ看守セリ

五十五日 第五十四隊田左翼ニテ激戦ヲ行ハラスモ志名城附近陣地

日突破也。傷勢不敵。今敵真壁附近。距離之。米須。千。僅。一。戰。況。是。博。米。愈。之。最後。敵。隊。之。突。入。也。師。團。奉。命。今。一。休。其。主。力。以。下。摩。又。仁。三。橋。進。ス。ル。當。初。隊。之。時。小。隊。二。待。於。七。ノ。ル。

昨日米須。突進也。敵。八。步。戰。連。合。機。勢。ナル。大。部。隊。ト。リ。其。各。一。部。ハ。真。米。干。新。垣。方。面。主。力。ハ。伊。濃。守。兵。ヲ。一。部。一。部。山。城。軍。連。二。部。共。餘。勢。ヲ。聚。テ。一。邊。摩。又。仁。亦。重。重。攻。擊。鉅。向。下。屋。所。東。地。帶。ハ。此。處。全。縱。深。ニ。至。一。蜂。巢。ヲ。突。ク。ル。ル。ハ。一。向。ハ。敵。數。狀。態。ヲ。展。開。シ。連。日。軍。夜。奇。襲。極。難。ク。又。復。セリ。新。垣。山。城。南。部。上。屋。北。側。ニ。拉。置。シ。敵。數。奮。斗。三。晝。夜。又。七。刀。折。彈。盡。ク。リ。一。月。二。日。遂。ニ。山。城。最。終。ニ。降。ル。隊。長。金。木。少。佐。以。下。尚。生。存。ス。ル。者。全。員。ハ。數。組。斷。込。隊。日。編。成。シ。テ。三。日。深。夜。小。隊。伊。原。直。壁。附近。敵。陣。突。入。セリ。

### 第六十二師團輜重隊歷史概要

#### 第六十二師團編成下令

同日二十八日北支山西省太原第一軍司令部。於。編。成。完。結。

同日第六十二師團。編。組。入。ル。

昭和八年一月以降山西省東部地区。警備討伐等。從事。

昭和八年一月十八日太行山作戰。部隊。一。部。參加。

昭和八年一月十八日大岳山作戰。參加。

昭和八年一月十八日冀西山作戰。參加。

昭和八年一月京漢山作戰。參加。為。師。團。增加。

京漢山作戰。參加。為。山西省平陽縣陽泉出發。

同日。平。日。黃。河。北。岸。黑。龍。驛。集。結。

昭和九年。河南省。汝。州。縣。南。部。終。了。羽。王。城。鄭。州。許。昌。高。縣。大。金。山。平。等。

縣洛河川谷長水鎮驢代等京漢作戰二參加

鄂軍第... 京漢作戰二因一師團長... 賞狀... 受...

襄城縣二集結同地同... 防衛及軍所要兵器彈藥糧秣等

集積三任入

鄂軍第... 轉進... 襄城... 封... 集結

同 月 編成整理

鄂軍第... 上海... 轉進... 同日... 洪淞... 於... 乘船

同日 十九日冲繩縣那霸港到着翌二十日那霸港二上陸

鄂軍第... 上陸後冲繩本島中地... 防衛並三外戰準備

鄂軍第... 冲繩本島戰鬥開始

鄂軍第... 終戰

鄂軍第... 武裝解除

冲繩本島上陸後... 部隊編成及編合等概要

鄂軍第... 現地初軍兵入隊

鄂軍第... 在編成復歸下令現地人馬以下取馬中隊... 編成... 高野...

鄂軍第... 防召人馬以下觀馬中隊... 編成... 木村少尉

微備船隻原船三隻及迴航帆船運用會... 以下海上輸送隊

之編成(長少尉新貝勝彦)

鄂軍第... 現地初軍兵入隊

鄂軍第... 第六師團病馬廠既屈

鄂軍第... 第六師團通信隊大部師團司令部... 飛行場大隊輸送

中隊之既屈

鄂軍第... 第六師團野戰病院兵科下士官以下全員及飛行場設定隊

輸送中隊獨立步兵第三大隊臨時輸送第四大隊水上勤務

作戰準備間ニ於ケル部隊行動概要

第一概況

昭和十九年八月上陸以來那霸市及普天間等位置ミテ主カラ  
以テ輸送補給ニ勤メ以テ防禦陣地ノ構築ヲ実施セリ  
轉進ニ當リ携行セル各部隊ノ荷物ハ極メテ尠大ナル数量ニ上  
リ加ヘテ上陸直後那覇埠頭ニ於テ受領セル兵器彈藥築城  
資材並ニ糧秣軍需資材等ハ想像ヲ許ササルモアリ輸送力  
全部ヲ擧ゲテ晝夜兼行ノ努力ヲ拂フル共ニ方防禦陣地  
ノ構築ハ一日モ弛セズルヲ許サス部隊將兵ノ苦勞ハ筆古ニ盡シ  
得サルモアリ十月及三月入隊ノ初年兵ノ教育ニ際シテハ常  
呂名燃料不足ノ爲ニ遠ニ自動車ニ乗ル教育實施ハ不能ナ  
ル状態ニアリ

第二輸送補給

①昭和十九年八月三日陸後部隊の那覇ニ時位置シ師団各部隊ノ隊別食料及補給兵器糧秣築城資材並糧秣具他軍需資材ノ輸送補給ニ任スト共ニ十原附近ノ陸地構築ヲ實施セリ

②昭和十九年十月言當時ノ状況ヨリ部隊主力ヲ中頭郡普天間ニ移駐セシメ同地ノ防衛ニ任スト共ニ前項任務續行並ニ中頭地区ヨリノ抗不輸送ヲ實施ス

③昭和十九年十月十日敵機動部隊大舉登陸ヲ受テ那覇港ニ帯燧列ノ銃環撃ノ爲被害甚大ニシテ同日那覇中街ノ島有ニ歸シ船舶艦艇ノ爆燒スルモノ集積資材燒失等損害極メ大ナリ

那覇中ニ位置シ自動車一小隊ハ小隊長新貝少尉ノ機宜適七指揮ニ依リ被害皆無ニシテ同日夕刻部隊主力ニ合ヒセリ

④昭和十九年二月屢次意見ヲ容レテ師団内輸送諸機関統一運用ヲ實施ス如ク師団命令ヨリ部隊ハ島内各要地ニ輸送運送所ヲ設置シテ輸送處理ニ任セシメ各輸送機関特性ヲ調和シテ巧ニ運用セシ結果輸送能力ハ從來ニ倍カシテ中戰準備要求ヲ完全ニ充足シ且フ中頭地区ニ疎開スル地方荷物ノ輸送ヲ援助シテ尚ホ餘力ヲ生スルニ至レリ

附説

沖縄本島ハ其南岸部ニ即チ運搬便道ヲ有スル共ニ馬車荷馬車ハ極メテ多数アリ又海上ニハ山原船ト称スル力至ニシテ噸飯小帆船アリ等地方輸送機関輸送能力ハ相當大ナル

ノリ軍由輸送力ヲ加フハ運用ヲ誤ラサル限り軍及地方輸送ニ  
不便ヲ生スルカ如キ虞ナキ現況ニテリタルモ各部隊各個輸送ヲ  
実施セシメタル爲メ道路ヲ除ク其他輸送機關ノ總テ片道輸送  
トナリ狹隘ナル道路及積卸位置ハ混雜甚ク特ニ那霸港  
岸ノ如キハ自動車下隊ニ積載發行セシムルニ半日餘ヲ空  
費スルヤ状態ニテリ然レテ又軍ニ於テ統制配當セラルル船舶及一  
馬車隊軍ハ各部隊之カ取得ニ狂奔シ甚クモ多量ノ餘剩輸  
送力ヲ配置シ他部隊ノ用役ニ充ツルコトヲ但宜ク部隊ノ爲  
ニ軍統制配當ハ名実伴ハス島内輸送能率ハ著シク低下  
シ作戦準備ニ支障ヲ生スルコト極クテ大ナルニテリ故ニ再ニ別  
統制意見見ヲ上申スルモ容レラレ所ナク又爲ニ師団内輸  
送力統運用ヲ企圖シ意見ヲ具申シテリ然レモ結果如何ナ

年一々漸ク之ヲ誤ラレ師団各部隊保有ノ輸送力大ニ少ク  
輸送隊長ノ指揮ヲ屈セラレタリ

別紙

輸送ニ関スル意見上申ノ要旨

一 約内輸送力ノ分散使用ハ輸送能率ノ著ク低下ナリ  
補給資材内滑ルル處困難ニ現況ニテラ以テカ田骨  
化ラ期スル共ニ各隊陣地構築ノ下戰準備ノ促進ヲ圖ル要  
ス方為左ノ如ク處理スル要アリ

一 兵器彈藥糧秣等重要物資ノ殆ト全部ヲ第線部隊係  
持セシムル目下輸送過重ノ状態ニ即チ之故ニ將來豫想スル戦斗  
状況ノ伸縮ニ即應シ其補給ヲ適切ニシテ共ニ局勢の戦況  
ノ不利ニ際シ多量ノ物資ノ之ヲ豫防スル如ク軍需諸品集積  
位置及集積量等ノ配置ヲ考慮スルコト  
一 約内各種輸送機關及兵団保有輸送諸機關大部ヲ統合